

『おおきな木（通級指導教室）』だより

豊中市立大池小学校 R6（2024）3・21

No.4-2



感じ方はひとそれぞれ

早いもので、学校の一年間はまもなく終わり、進級・進学の日を迎える季節になりました。

環境の変わり目が心配なのは、子どもも大人も同じです。

とくに新しい人間関係（新しい学校の人、新しいクラスの友だち、新しい先生・・・）のなかで、すっかり気疲れしてしまう子どもも少なくありません。

人はどんなことを感じながら生きているでしょう

○「五感」見る・聞く・味わう・嗅ぐ・触る について

家族の中でエアコンの温度設定をめくり、「暑い！」「いや、寒すぎる」などひととちやくおこる話はよくあります。

暑さ・寒さの感じ方はひとそれぞれです。

食べ物の好みはかなり幅があります。カレーは国民食と言われ、給食でも人気No.1と言われてきましたが、最近はそうでもないようです。

においの強い納豆やパクチーは好みがはっきりとわかります。

音はどうでしょう。ライブでガンガン鳴る音楽にノリノリになる人もいれば、静かな図書館を好む人もいます。

見え方については、前回の「おおきな木だより」で詳しく書きましたが、視力以外にも見え方についてはかなり幅があります。

このように、視覚・聴覚・味覚・嗅覚・触覚 の五感についてはひとそれぞれ、とわかりやすいです。

○「好き・きれい」「善い・わるい」について

しかし、社会生活や人間関係のなかで発展してきた感じ方・・・善悪の感覚や嫌と快の感覚などはなかなかわかりにくいものがあります。

あるものごと・できごとについて、すんなり受け入れられるか、イヤイヤながらガマンできるか、「もう限界～！！」なのかも、やはりひとそれぞれです。

感じ方が人とちがうのはわるいことなのでしょうか？

「人によって感じ方はちがう」

「お互いに人の感じ方を認め合う」

このことが自然に受け入れられたら、人間関係はかなり楽になるはずですよ。

もちろん、人に迷惑をかける行動は×ですが、何が好きか・何が苦手か、善いと感じるか感じないか、許容できる範囲などについては他人に決められるものではありません。

子どもの世界でも「目立ち過ぎず、引っ込み過ぎず、ほどほどの立ち位置」をキープするのがたいへんと聞きます。同調圧力ということばがあります。

高学年になると、周りに嫌われてはたいへんと気を遣い過ぎてしんどくなる子がふえますが、このときは「感じ方はひとそれぞれ」と開き直ることもひとつの方法ですね。

「人の気持ちを考えましょう」はよく言われる言葉ですが、そこにもうひとつ

「人の感じ方を尊重しましょう」を加えたいなと思います。

心はほんらい自由なものです。

自立した人同士が、お互いに認め合い協力し合って、あたたかく楽しい学校生活をつくっていきましょう。

くこの『おおきな木（通級指導教室）』だよりは

大池小学校 HP にも掲載しています>

クラスがえ・・・とくいかな？苦手かな？

クラス替えが楽しみな子、心配な子。いろいろですね。

“子どもは新しいものが好きだから平気”と思われがちですが、小学生も大人と同じ、環境の変化には大きなストレスを感じます。

ストレスは必ずしもわるいことではなく、適度なストレスは次へのバネになります。でも、大きすぎるストレスは心身によくない影響もありますね。

次ページで「タイプ別クラス替え対応法」を考えてみました。

（日常からみえる子どもの姿からの「対応法」です。あくまでご参考までに）

わくわくタイプは、大丈夫。初日から忘れ物!ということがないように必要な持ち物の点検をもう一度しておきましょう。

どきどきタイプは楽しみ半分不安半分。始業式に帰ってきて「友だちとクラスわかれた～」とか騒ぐかもしれませんが、前が良かったという気持ちはいけないことでは

ありません。よかった前の学年を土台に、次の学年で力を発揮していくでしょう。

くよくよタイプは4月いっぱいくらい軌道にのれないかもしれません。始業式前日は

連絡帳や集合時刻・場所を確認すると気持ちが落ち着くこともあります。

過度な励ましや「いつまで言ってるの」などの吐責は不安を大きくします。

大切なことは不安への共感です。おうちの人に不安な気持ちに寄り添ってもらい、

年度初めの大きな段差を乗り越えて登校してきてくださいね。

不安もあるけど、でもひとつ進級するのはうれしいことです。

みなさん、進学進級おめでとうございます。

4月に元気な顔で会いましょう。

一年間、「おおきな木」へのご協力ありがとうございました。

(豊中市立大池小学校 通級指導教室担当:藤木桂子)

タイプ別 クラスがえ たいおうほう

どのタイプかな？

